

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第69期第1四半期（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
【会社名】	キッセイ薬品工業株式会社
【英訳名】	KISSEI PHARMACEUTICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 神澤 陸雄
【本店の所在の場所】	長野県松本市芳野19番48号
【電話番号】	0263(25)9081(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 佐藤 公衛
【最寄りの連絡場所】	長野県松本市芳野19番48号
【電話番号】	0263(25)9081(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 佐藤 公衛
【縦覧に供する場所】	キッセイ薬品工業株式会社 東京本社 （東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号） キッセイ薬品工業株式会社 横浜支店 （横浜市神奈川区新浦島町1丁目1番地25 テクノウェイブ100 16F） キッセイ薬品工業株式会社 名古屋支店 （名古屋市名東区社が丘1丁目606番地） キッセイ薬品工業株式会社 大阪支店 （大阪市西区土佐堀1丁目3番18号 MORITANIビル90 6F） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第1四半期 連結累計期間	第69期 第1四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	14,377	16,306	62,491
経常利益(百万円)	2,322	3,727	8,849
四半期(当期)純利益(百万円)	1,443	2,427	5,019
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	737	175	13,304
純資産額(百万円)	123,197	133,981	134,784
総資産額(百万円)	144,328	158,735	160,028
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	28.04	47.15	97.52
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	85.2	84.3	84.1

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

(1) 技術導出契約

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の締結等はありません。

(2) 技術導入契約

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の締結等はありません。

(3) 商品導入契約

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の締結等はありません。

(4) 取引契約関係

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、企業間での市場競争が激化するなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、景気の持ち直し感が出始めている中で、企業におけるIT投資及び設備投資意欲が徐々に改善されてきてはいるものの、個人消費が伸び悩むなど、実体経済への波及にまでは至らず依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	増減率(%)
売上高(百万円)	14,377	16,306	13.4
営業利益(百万円)	2,089	3,170	51.7
経常利益(百万円)	2,322	3,727	60.5
四半期純利益(百万円)	1,443	2,427	68.2

医薬品事業の売上高は、145億7千6百万円(前年同期比11.7%増)となりました。前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ[®]」、腎性貧血治療薬「エゴエチンアルファBS注JCR」、糖尿病治療薬「グルベス[®]配合錠」をはじめとする新製品の育成に注力するとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしましたほか、国内販売提携先への供給額が増加いたしましたことなどにより増収となりました。また、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン(一般名、日本製品名ユリーフ)の北米・中南米における技術導出先でありますアクタビス社(本年1月にワトソン社より社名変更、アメリカ)及び欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社(イタリア)では、当連結累計期間におきましても引き続きそれぞれの許諾地域内において製品育成ならびに発売に向けた準備を進めておりますほか、他の技術導出先各社におきましても製品育成が図られております。

その他の事業の売上高は、17億3千万円(前年同期比29.9%増)となりました。情報サービス業、物品販売業、建設請負業それぞれにおきまして増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇がありましたものの、増収による増益要因に加え、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べほぼ同額となりましたことなどにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益は増益となりました。

研究開発の状況につきましては、引き続き各テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,587億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億9千2百万円減少しました。流動資産はたな卸資産が減少しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、19億2千7百万円増加し941億8千9百万円となりました。固定資産は投資有価証券が時価評価により減少したことなどにより、32億1千9百万円減少し645億4千5百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は247億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8千9百万円減少しました。流動負債は支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少しましたが、流動負債「その他」に含まれる未払費用が増加したことなどにより、7億4千5百万円増加し163億2千2百万円となりました。固定負債は繰延税金負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ12億3千5百万円減少し84億3千1百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は利益剰余金が増加しましたが、その他有価証券評価差額金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ8億3百万円減少し1,339億8千1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.1%から84.3%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当グループ全体の研究開発費の総額は、23億2千2百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	227,000,000
計	227,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	56,911,185	56,911,185	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は、 100株であります。
計	56,911,185	56,911,185	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		56,911,185		24,356		24,247

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 5,439,200	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 51,408,000	514,080	-
単元未満株式	普通株式 63,985	-	-
発行済株式総数	56,911,185	-	-
総株主の議決権	-	514,080	-

（注） 「単元未満株式」の欄には、当社保有の自己株式10株、及び証券保管振替機構名義の株式10株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
キッセイ薬品工業株式会社	松本市芳野19番48号	5,439,200	-	5,439,200	9.56
計	-	5,439,200	-	5,439,200	9.56

（注） 当第1四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式数は、5,439,436株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,937	25,076
受取手形及び売掛金	25,005	25,436
有価証券	27,344	27,359
商品及び製品	5,197	5,089
仕掛品	355	298
原材料及び貯蔵品	5,570	5,446
繰延税金資産	2,030	2,284
その他	2,824	3,202
貸倒引当金	2	2
流動資産合計	92,262	94,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,881	36,909
減価償却累計額	26,271	26,469
建物及び構築物(純額)	10,610	10,440
土地	13,190	13,112
建設仮勘定	552	1,288
その他	14,396	14,374
減価償却累計額	12,222	12,338
その他(純額)	2,173	2,036
有形固定資産合計	26,527	26,877
無形固定資産	818	758
投資その他の資産		
投資有価証券	38,091	34,595
繰延税金資産	423	435
その他	1,954	1,927
貸倒引当金	49	50
投資その他の資産合計	40,419	36,909
固定資産合計	67,765	64,545
資産合計	160,028	158,735

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,882	4,297
短期借入金	2,001	2,021
未払法人税等	1,992	1,584
賞与引当金	2,153	972
その他の引当金	580	519
その他	3,967	6,927
流動負債合計	15,577	16,322
固定負債		
長期借入金	1,525	1,475
繰延税金負債	3,100	1,903
退職給付引当金	4,199	4,215
役員退職慰労引当金	119	122
資産除去債務	101	101
その他	619	612
固定負債合計	9,666	8,431
負債合計	25,244	24,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,254
利益剰余金	83,832	85,281
自己株式	8,681	8,682
株主資本合計	123,761	125,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,797	8,547
その他の包括利益累計額合計	10,797	8,547
少数株主持分	225	223
純資産合計	134,784	133,981
負債純資産合計	160,028	158,735

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	14,377	16,306
売上原価	4,479	5,317
売上総利益	9,897	10,988
返品調整引当金戻入額	17	14
返品調整引当金繰入額	15	15
差引売上総利益	9,900	10,988
販売費及び一般管理費	7,810	7,817
営業利益	2,089	3,170
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	283	351
有価証券評価益	-	194
その他	21	18
営業外収益合計	315	575
営業外費用		
支払利息	9	11
有価証券評価損	64	-
為替差損	3	6
その他	5	1
営業外費用合計	83	19
経常利益	2,322	3,727
特別損失		
投資有価証券評価損	111	-
減損損失	0	78
その他	0	0
特別損失合計	112	78
税金等調整前四半期純利益	2,209	3,649
法人税、住民税及び事業税	1,045	1,436
法人税等調整額	266	212
法人税等合計	779	1,223
少数株主損益調整前四半期純利益	1,430	2,425
少数株主損失()	12	1
四半期純利益	1,443	2,427

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,430	2,425
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	692	2,249
その他の包括利益合計	692	2,249
四半期包括利益	737	175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	750	177
少数株主に係る四半期包括利益	12	1

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	598百万円	491百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	926	18	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	977	19	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他(注) (百万円)	合計 (百万円)
	医薬品 (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客への売上高	13,045	13,045	1,332	14,377
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	839	839
計	13,045	13,045	2,171	15,216
セグメント利益又は損失()	2,158	2,158	109	2,048

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	2,158
「その他」の区分の利益	109
セグメント間取引消去	14
固定資産の調整額	26
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	2,089

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他(注) (百万円)	合計 (百万円)
	医薬品 (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客への売上高	14,576	14,576	1,730	16,306
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	791	791
計	14,576	14,576	2,522	17,098
セグメント利益	3,139	3,139	10	3,150

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	3,139
「その他」の区分の利益	10
セグメント間取引消去	14
固定資産の調整額	3
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	3,170

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	28円04銭	47円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,443	2,427
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,443	2,427
普通株式の期中平均株式数(千株)	51,472	51,471

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月12日

キッセイ薬品工業株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 黒田 裕 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 富田 哲也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているキッセイ薬品工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、キッセイ薬品工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。